

桃 陵 中 学 校 ブ ロ ッ ク の 小 中 一 貫 教 育

軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つきたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。（適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。）

義務教育卒業時につけたい力 ○基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につける。 ○自分の考えを、式や表、図、グラフ、写真などを用いて筋道立てて論理的に思考・表現する力を身につける。 ○学ぶことの楽しさを実感し、自分の興味関心に合わせて課題を設定し探究する、意欲・技能を身につける。								
学年または学年区分ごとにめざす姿 自分の考えを筋道立てて、相手に分かりやすく伝えとともに、相手の考えの中心を意識しながら話を聞くことができる。 数や量の感覚を豊かにし、量の測定や作図ができる。 漢字や語句を理解し、適切に使うことができる。				自分の考えを的確に話し、相手の意図をつかみながら聞くことができる。 図形やグラフを効果的に使い、自分の考えを説明したり、書き表したりすることができる。 目的や意図に応じて適切な語句を選び、文章全体の構成を意識して書くことができる。		小学校の学習で身に付けた力を基本として、知的好奇心や探究心に富み、主体的に学ぼうとする生徒。	グループ学習を通して、自ら考え伝える力を身に付け、言語活動を活発に行う中で、意欲的な学習態度や読書活動などを身に付ける生徒。	「学んだこと」「考えたこと」「わかる」「できる」を実感し、学ぶことの意義と生涯にわたって学び続ける意欲ある生徒。
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動 ＜伏見南浜小学校の取組＞ ・朝読書 ・書き方・話し方・聞き方のあいうえお ・ぐんぐんタイム（10分間算数） ・ノート指導		・朝読書 ・3文スピーチ ・ぐんぐんタイム（10分間算数） ・ノート指導，ふりかえり		・朝読書 ・1分間スピーチ ・ぐんぐんタイム（10分間算数） ・ノート指導，ふりかえり，次時の見通し ・日記		・朝読書 ・終学習 ・基礎基本の補充学習 ・英語検定 ・数学計算大会 ・英単語大会	・朝読書 ・終学習 ・基礎基本の補充学習 ・「教え合い・学び合い学習」 ・英語検定 ・数学計算大会 ・英単語大会	朝読書 ・終学習 ・基礎基本の補充学習 ・「教え合い・学び合い学習」 ・英語検定 ・数学計算大会 ・英単語大会
＜中学校ブロックとしての取組＞ ・基礎基本の徹底を図るため、学び合い学習を通して、自ら考える力の育成と言語活動（コミュニケーション力）の充実を図るための取組みを行う。 ・「わかる授業」の実現を小中教職員の共通目標とし、授業づくりを行う。 ・学ぶ意欲を高める授業を研究することで、「主体的な学習を進めるあたり、仲間の存在が欠かせないことを理解し」このことを児童生徒に実感させ、児童生徒の自己肯定感を高める授業を意識的に行う。 ・小中で「授業力向上委員会」を組織し、小中で一貫した取組み、共通理解、情報交換を行う。								

義務教育卒業時につけたい力																	
自分を大切に思い，他人を思いやる心を身につける。																	
感受性を豊かにし，様々なものに感動する心を身につける。																	
学年または学年区分ごとにめざす姿		自分で考え行動する子ども 心をこめた挨拶ができる子ども 感動する心を大切にできる子ども		自他に思いやりをもって接することができる子ども 自分・友だち・家族・自然など，大切なものを大切だと感じることができる子ども 公正・公平な考えを大切にする子ども		正しい言葉づかいをすることにより，他者への思いやりの心をもった生徒。 共に生きる社会のめざす生徒。		規範意識の内面化と共に，感謝の気持ちを表現できる生徒。 支え・励まし・高め合う生徒の育成		正しい言葉使いができ，感謝の気持ちを表現し，他者をいたわり，集団の絆を大切に生きる生徒。							
小1（1年）		小2（2年）		小3（3年）		小4（4年）		小5（5年）		小6（6年）		中1（7年）		中2（8年）		中3（9年）	
取組・活動 ＜伏見南浜小学校の取組＞ 校区探検 登校時のあいさつ いいとこみつけ 保幼小交流 演劇鑑賞		命かがやく南浜 校区・京都の産業 登校時のあいさつ いいとこみつけ 河川レンジャー エコライフチャレンジ 演劇鑑賞		平和学習 登校時のあいさつ ありがとうスピーチ いいとこみつけ ありがとうの花をさかせよう 演劇鑑賞教室 音楽鑑賞教室		・学級活動に「コミュニケーションの取り方」を考える時間を設置。 ・人権学習と絡めて「他者を理解する」ための学級活動		・生徒会活動の中に，規範意識を考える取り組みを組み込む。 ・学校行事（文化祭・体育祭）の主体的な活動 ・職場体験での生き方を探究する活動		・修学旅行を通しての集団の絆づくりと，自然や平和への感謝の気持ちの育成 ・生徒会行事，学校行事での協働活動							
＜中学校ブロックとしての取組＞ <ul style="list-style-type: none">・道徳の授業の教材を小中で共同開発し，情報交換を行いながら，9年間を見通したカリキュラムを構成する。・人権教育，学習のねらい，テーマを小中で共通理解し，互いに参観し共同で教材研究を進める。・「あいさつ」「適切な言葉づかい」を9年間共通して，児童生徒の生活指導の基本とする。・「協働活動」を通して，自律性と責任感を身に付けさせる。・児童会生徒会活動を通して，「支え・励まし・高め合う」児童生徒集団を育成する。																	

義務教育卒業時につけたい力								
たくましく生きるための健康と安全を身につける。								
基本的な生活習慣を身につける								
自分を知り，心身ともによりよい自分をつくる								
学年または学年区分ごとにめざす姿		健康な生活を送るための生活習慣を身につける。 命のつながりを知り，自分を大切に する。		生命の尊さや命の連続性を理解し， 自他の命を尊重した行動ができる ようにする。 病原体や薬物・アルコールなどの害 を知り，自分の健康を守る行動がと れる力を身につける。		自らの健康状態 や体力について 考え，健康につ いて考え行動 し，体力の向上 をめざす生徒	食事・運動・休 養・睡眠の調和 のとれた生活習 慣を身に付けよ うとする生徒	将来にわたって たくましく生き るために，健康 や安全を考え， 行動する力を耳 に付けた生徒
小１（１年）	小２（２年）	小３（３年）	小４（４年）	小５（５年）	小６（６年）	中１（７年）	中２（８年）	中３（９年）
取組・活動 ＜伏見南浜小学校の取組＞ 避難訓練 生活見直し週間 給食室からこんにちは ランチハウス給食 保健だより 保健室指導 交通安全教室		避難訓練 生活見直し週間 給食室からこんにちは ランチハウス給食 保健だより 保健室指導 保健体育学習 自転車教室		避難訓練 生活見直し週間 給食室からこんにちは ランチハウス給食 保健だより 保健室指導 保健体育学習 薬物乱用防止教室 非行防止教室		健康観察 保健便り発行 避難訓練 安全教育指導 非行防止教室 薬物乱用防止教室 歯の健康う歯 0 の取組み	健康観察 保健便り発行 避難訓練 安全教育指導 非行防止教室 薬物乱用防止教室 歯の健康う歯 0 の取組み 食育指導	避難訓練 保健便り発行 避難訓練 安全教育指導 非行防止教室 薬物乱用防止教室 歯の健康う歯 0 の取組み キャリア教育
＜中学校ブロックとしての取組＞								
・食事，運動，休養，睡眠の大切さを， 9 年間を通して共通して指導を行う。								
・養護教諭が適宜連絡を取り，情報交換を行うことで，児童生徒の健康状態の把握，さらには心身の状況の把握を行う。								
・地域の交通安全推進委員会，少年補導員会などと連携し，安全指導や心の健康について指導を行う。								
・う歯 0 の取組みを小中連携で行う。								
・体力診断テスト，スポーツテストの共有化し，体力の増強などについて連携する。								

学びの約束・ルール

項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話し方 聞き方 読み方	全員に聞こえる大きさの声で話す。 話している人の方に体を向けてきく。 はっきりと読む。		場所や場面に合わせた声の大き さで話す。 自分の考えと比べながら聞く。 言葉のまとまりを意識して読 む。		自分の話したい意図が伝わるよ うに話す。 相手の考えの中心をつかめるよ うに聞く。 声の大きさやリズムを工夫して 読む。		話題や方向性 を的確にとら え、相手の発言 に注意して聞 いたり、自分の 考えをまとめ て話す。	相手の立場や 考えを尊重し、 目的に沿って 話し合いや、互 いの発言を検 討して自分の 考えを広げる。	話し合いが効 果的に展開す るよう進行の 仕方を工夫し、 課題の解決に 向けて互いの 考えを生かし 合う。
ノートづくり	マス目からはみ出さないように 丁寧に正しい字で書く。		読みやすさを意識して、マス目 や行の空け方を工夫して書く。 大事なところを囲んだり、色を つけたりする。		学習した内容が分かりやすいよ うにノートのまとめ方を工夫す る。 課題、考え、分かったこと、違 う意見などを色分けをしたり、 項目を分けたりして分かりやす くまとめる。		授業の内容や 理解したこと をまとめるノ ートづくり	学びを楽しむ ためのノート 学びの足跡を 残すノートづ くり	思考力・表現力 を伸ばすため のノート 自分の考えを 友だちの考え と比較できる ノートづくり
適切なあいさ つ・言葉づか い	大きな声であいさつをする。 正しいあいさつや返事の仕方を知る。				相手や場面に合わせて適切な言 葉づかいをする。 相手意識をもってあいさつをす る。		気持ちの良いあいさつ、その場にふさわしい適切 な言葉づかいをする。 ・授業中はすべて教職員も生徒も男女とも「○○ さん」と呼ぶ。そのことで授業規律が高まり、 また相手を思いやる心を育てる。 ・地域の方への話し方、年長者に対する話し方を 身に付ける。 ・上級生、下級生の間の過度な挨拶の自粛。		

家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や，学校評価アンケート項目の統一など，家庭・地域との連携・協力に向けた取組について，記載してください。

- ・学校運営協議会への互いの参加により，保護者，地域の方と共に両校校長が学校の現象の共通理解を行う。
- ・地域行事の担当校を決め，役割を分担するとともに，児童生徒の参加については協力・連携を行う。
- ・地域生徒指導連絡協議会等での両校PTAの繋がりや地域行事での両校PTAの協力を，学校経営に生かす。
- ・学校だより，ホームページの充実，地域だよりなどの発行により，地域の方の学校理解を進める。
- ・地域団体の学校行事への協力や，「総合的な学習の時間」への支援等，地域の人材を活用した学習を進める。
- ・幼稚園，小学校，中学校の３校園合同「地域学校運営協議会」での情報交換，意見交換を行い学校経営に生かす。